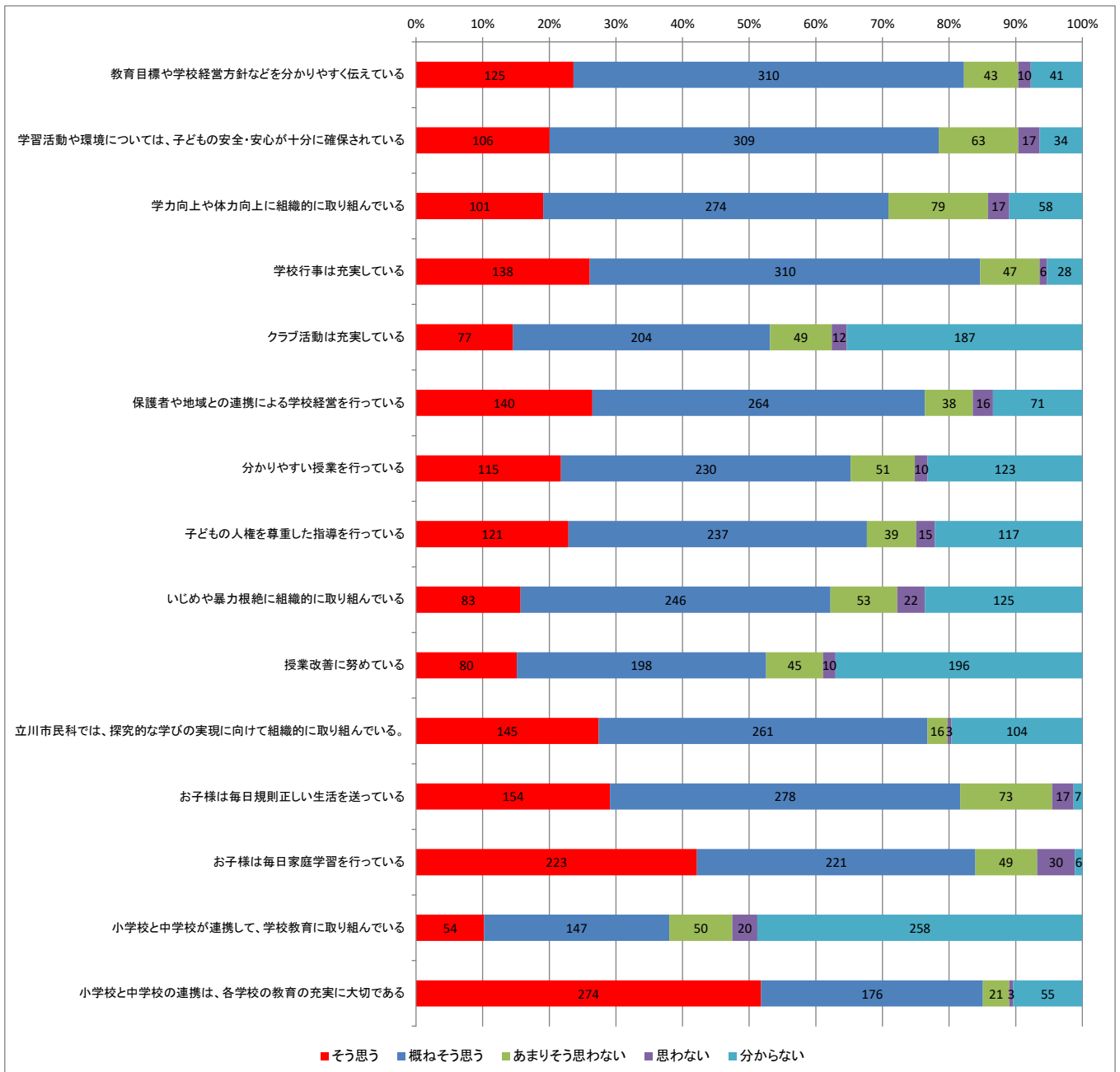


第九小学校の教育に関するアンケート調査(保護者)及び児童アンケート調査結果等の報告について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様には、令和6年1月に実施させていただいた第九小学校の教育に関するアンケート調査にご協力いただきありがとうございました。同調査結果と同時期に実施しました児童アンケート調査の結果を報告させていただきます。併せて、令和6年2月に実施させていただいた学校だより等のデジタル配布に関するアンケートの結果も報告させていただきます。

Ⅰ 第九小学校の教育に関するアンケート調査(保護者)結果(回答数529/在籍数609)



(1) 調査結果について

大半の項目に関して、概ね70～80%を超える肯定的評価(そう思う・概ねそう思う)をいただきました。本校の教育活動に対しご理解をいただいたことに感謝申し上げます。

特に、「教育目標や学校経営方針などを分かりやすく伝えている」については、80%を超える高い評価をいただきました。「学習活動や環境については、子どもの安全・安心が十分に確保されている」につきましては、おおむね80%の評価をいただきました。教育目標や学校経営方針を伝えること、子どもたちの安全・安心を確保することは学校の責務です。引き続き、様々な取組を進めていきます。

また、「学校行事は充実している」「保護者や地域との連携による学校経営を行っている」に関しても、肯定的評価をいただきました。昨年度より教科化された立川市民科に関する「立川市民科では、探究的な学びの実現

に向けて組織的に取り組んでいる」でも、80%に近い評価をいただきました。保護者の皆様に分かりやすく活動を伝えていく工夫により一層努めます。立川市民科、学校行事、保護者・地域との連携は、本校のコミュニティースクールとしての特色でもあります。より一層の充実に努めます。

さらに、「学力向上や体力向上に組織的に取り組んでいる」は70%を超える評価をいただきました。引き続き、学力向上及び体力向上に力を入れていきます。体力向上に関しては、本年度の体力テストも良好な結果です。一方、「分かりやすい授業を行っている」に関しては、70%に達しませんでした。今後も工夫を重ねながら継続して取り組んでいきます。

そして、「お子様は毎日規則正しい生活を送っている」「お子様は毎日宿題や家庭学習を行っている」という家庭生活に関する項目に関しては、80%を超える肯定的評価でした。本校の家庭教育力の高さに改めて感謝申し上げます。

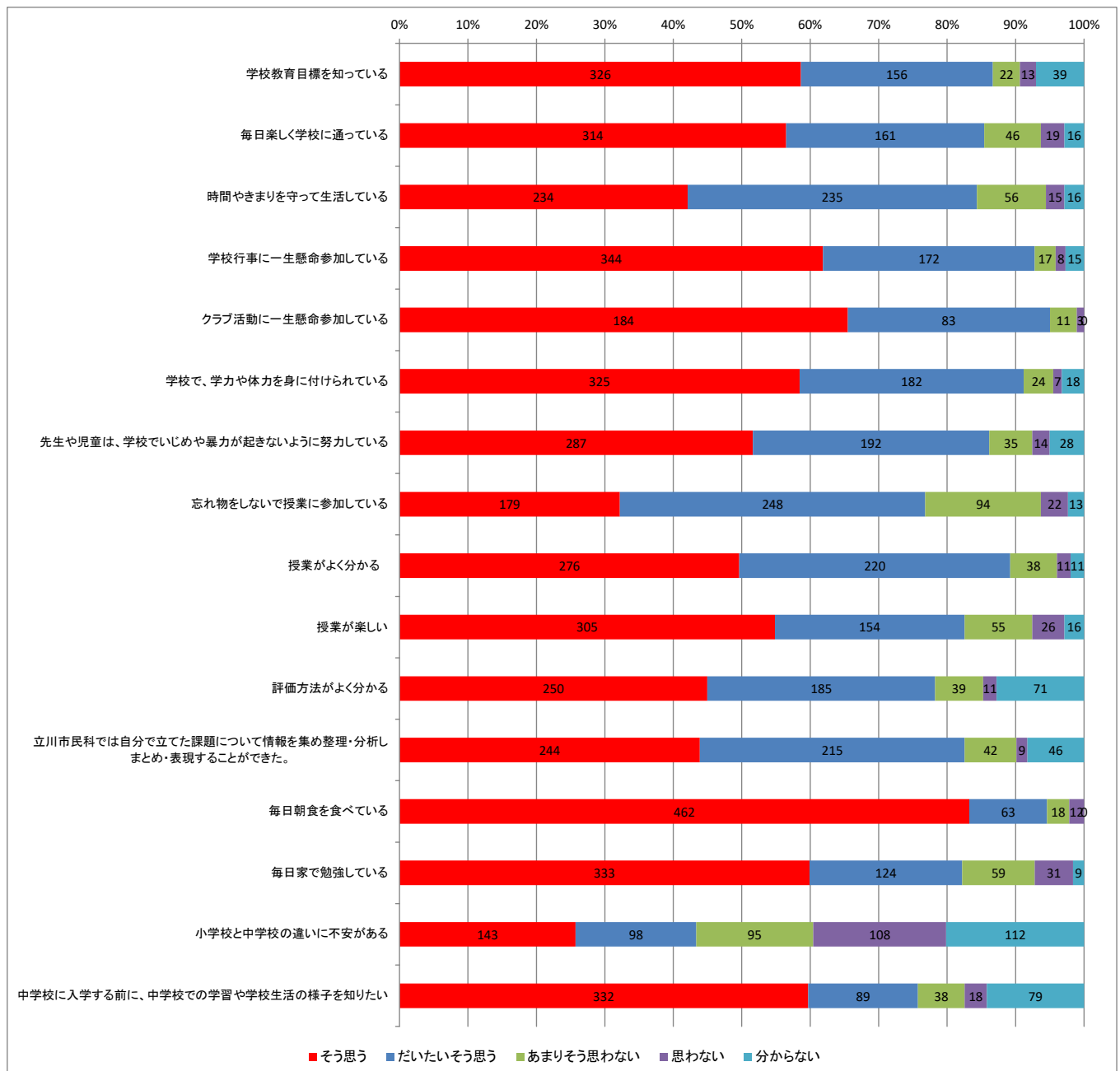
一方、「授業改善に努めている」に関しては、本年度50%の肯定的評価でした。「分からない」という回答も40%近くありました。結果を重く受け止め、学校として組織的により一層の授業改善に努めるとともに、情報発信も工夫していきます。

「クラブ活動は充実している」に関しては、50%の肯定的評価でした。この項目に関しては、「分からない」という回答も多くありました。

「小学校と中学校が連携して、学校教育に取り組んでいる」については、肯定的評価が40%、「分からない」という回答が50%でした。

本年度の傾向として、「分からない」という回答が多くありました。「小学校と中学校が連携して、学校教育に取り組んでいる」は50%近く、「授業改善に努めている」と「クラブ活動は充実している」は35%程度の回答でした。他にも20%を超える項目がありました。「分からない」という回答が多くあった項目につきましては、教育活動の改善・工夫に努めるとともに、保護者の皆様に分かりやすく活動を伝えていく工夫により一層努めます。ホームページや学校だより、学年・学年だより等での発信を増やすとともに、次年度は、土曜日の授業公開を新設し、授業をご覧いただく機会を増やしていきます。

2 児童アンケート調査の結果（回答数556／在籍数609） ※クラブ活動の項目は4年生以上が回答



多くの項目に関して、概ね80%を超える肯定的評価（そう思う・だいたいそう思う）を得ました。

「教育目標を知っている」に関しては、85%を超える肯定的評価を得ました。教育目標に関連する講話や学級指導において、教育目標の内容を別の表現（「一生懸命」「思いやり」）に言い換え、子どもたちに分かりやすく教育目標の内容を伝える工夫をしています。講話で繰り返し話をしている「一生懸命」に関しては、「学校行事に一生懸命参加している」「クラブ活動に一生懸命参加している」共に90%を超える肯定的評価につながり、数値に表れたと考えています。引き続き、工夫した指導を継続していきます。

「学校で、学力や体力を身に付けられている」については、90%を超える高い肯定的評価を得ました。「授業がよく分かる」については90%に近い肯定的評価を得ました。「授業が楽しい」についても、80%を超える肯定的評価でした。子どもたちに力を付けるとともに、一人でも多くの子どもたちが、授業に楽しさを感じられるよう、引き続き授業改善に努めていきます。

「立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた」については、80%を超える肯定的評価を得ました。引き続き活動を充実させていきます。

「評価方法がよく分かる」は80%近い肯定的評価でした。子どもたちに分かりやすい評価を心掛けていきます。

「毎日朝食を食べている」の項目につきましては、95%近い肯定的評価でした。一般的に言われているように、「早寝・早起き・朝ごはん」は生活の基本です。加えて、「毎日家で勉強している」も80%を超える数値です。保護者アンケートの結果と同様、本校の家庭の教育力の高さに感謝申し上げます。

「小学校と中学校の違いに不安がある」に関しては、40%を超える子どもたちに不安がある結果でした。一方で、「中学校に入学する前に、中学校での学習や学校生活の様子を知りたい」に関しては75%近い子どもたちが興味をもっていることが分かります。6年生に関しては五中見学や中学校の教員による出前授業等、連携の機会を多く設定しています。5年生以下の子どもたちにも、子どもたちの不安を取り除けるよう、小中連携活動のより一層の改善・充実に努めていきます。

3 学校だより等のデジタル配布に関するアンケートの結果（回答数551／在籍数609）

(1) 学校だよりや学年だより等を読む頻度は変わりましたか。

	回答数	割合
・デジタルになり読むようになった。	182	33%
・プリント配布の方が読んでいた。	87	16%
・あまり変わらない。	282	51%

(2) 配布方法についてお聞きします。

	回答数	割合
・デジタルでよい。	432	78%
・プリントがよい。	21	4%
・両方ほしい。	98	18%

デジタル配布に関しては、おおむね肯定的な評価を多くいただきました。

「デジタルになり読むようになった」という回答が予想以上に多くありました。プリントが手元になくとも、スマートフォン等で簡単に繰り返し読んだり、確認したりできるようになったことが肯定的評価の要因と思われる。学校としましては、次年度もデジタル配布を継続していく予定です。

一方で、プリントをご希望される方も一定数いらっしゃいました。事務室前のチラシ置き場に、ご自由にお持ちいただける「学校だよりコーナー」を設置することも次年度に向けて検討してまいります。